

## なぜ続くのか！触車死亡事故！

### 東静岡駅で協力会社社員が犠牲に！

7月24日13時頃、東海道本線東静岡駅構内において協力会社の社員が通過中の「ふじかわ6号」に触車し、死亡するという痛ましい事故が発生しました。新聞報道によれば、触車した協力会社の社員は「東静岡駅から西に2kmの線路上で行われた電力設備取り換え工事の現場に、東静岡駅のホーム上から下り電車の接近を無線で伝える見張りの仕事をしていました。事故当時は昼の休憩が終わり、作業準備にとりかかる時間だった。」と報じられています。また、この事故により上下16本が最大約2時間遅れるなど約1万4,300人が影響を受け、国土交通省運輸安全委員会の鉄道事故調査官3人が現地で調査を行ったとも報じられています。

これまで静岡支社管内では協力会社社員の触車死亡事故が何度も発生しています。JR東海労は事故の重大性を重く受け止めると共に、会社の安全対策に対する姿勢に大きな問題があると考えます。真の原因究明と二度と同種事故を発生させないための対策などを求め、会社に対し申し入れを行いました。

#### 申し入れ内容

1. 今回の触車死亡事故についての会社の認識を明らかにすること。
2. 事故の詳細、当該列車及び関係列車の旅客の対応を明らかにすること。
3. 事故の原因を明らかにすること。
4. 再発防止の対策を明らかにすること。
5. 協力会社等に対する再発防止に向けた安全教育の徹底を図ること。

会社の安全対策に疑問！  
二度と発生させないための対策を！